

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	クレザ
住 所	北海道千歳市千代田町6-7-3 リレントビル301
電話番号	0123-29-6360

事業所番号	0111100996
管理者名	山口 良子
対象年度	令和6年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		30	点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満			
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	○		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点			

（Ⅱ）生産活動

①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		50
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
		点
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

（Ⅲ）多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		15
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		15
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		15
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）		

（※）8項目の合計点に応じた点数（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅳ）支援力向上（※）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		15
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		15
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		15
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		

(※) 8項目の合計点に応じた点数
(注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

（※）8項目の合計点に応じた点数（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10	点
1事例以上ある場合：10点			

（Ⅵ）経営改善計画

経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0	点
期限内に提出していない場合：-50点			

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上

前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10	点
1事例以上ある場合：10点			

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計
130
点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	27,275.25	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	6,927	人	利用者の1日の平均労働時間数	3.94	時間
-----------------------------	-----------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	-	円	利用者に支払った賃金総額	-	円	収支	-	円
-----------------	---	---	--------------	---	---	----	---	---

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	12,649,324	円	利用者に支払った賃金総額	12,348,099	円	収支	301,225	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	32,915,639	円	利用者に支払った賃金総額	32,577,774	円	収支	337,865	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度を定めている	☒
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☒
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☒
----------------------	-------------------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名 「障がい者支援の基礎“支援者の虐待を防ぐ”」	
研修講師 山内 晋也（社会福祉法人武蔵野会リハビリテーション施設長）	
実施日・受講者数 4月12日～8人	

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☒
※研修、学会等名 実践報告会	
実施日 10月11日	
※学会誌等名	
掲載日 月 日	
発表テーマ 定着支援について	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	☒
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名	
実施日/参加者数 月 日 人	
※他の事業所名 就労継続支援A型事業所 ウインドバレー	
実施日/参加者数 4月25日 1人	

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☒
※商談会等名 就労移行支援事業所×札幌市内企業採用担当者セミナー・交流会	
主催者名 札幌商工会議所	
日時 7月1日	
内容 販路拡大のための名刺交換会、交流会	

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☒
◎当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日 令和3年3月1日	
人事評価制度の対象職員数 6名	
うち昇給・昇格を行った者 名	
当該人事評価制度の周知方法	
人事評価実施の案内を全事業所に掲示。同案内を全社メールにて通知。	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間 月 日～月 日	
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日 月 日	
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	☐
※認証を受けた日 月 日	
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。

※受理日 年 月 日

※経営改善計画の提出を求められていない。

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	クレザ	事業所番号	111100996
住所	北海道千歳市千代田町六丁目7番3号 リレントビル301	管理者名	山口 良子
電話番号	0123-29-6360	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

〈活動内容〉

活動場所： (株)エンパイアー
実施日程： 2023年11月～現在

実施した生産活動・施設外就労の概要：
クリーニング工場での仕分け・タオル畳み作業

1日利用者7名＋職員1名 計8名×2チーム稼働

〈活動の様子〉



仕分け作業：大きな袋からシートとタオルなど仕分け
ている様子

〈目的〉

施設外就労を行うことにより疾病や障害をお持ちの方への合理的配慮の向上。人材不足の解消。
施設外就労を通じて障がい者雇用への活性化。
その地域の雇用率向上。
人材不足の解消と障害雇用率へ繋がり。
障がい者に対するの深識。
派遣会社の打ち切り。

〈成果〉

生産性の向上と企業様にとっての人材不足の解消。
畳み作業を通じての生産性に対する意欲向上。

企業様側スタッフの障がい者の雇用に対するの理解。
障がい者個人の特性により、スピードより丁寧さを重視してしまう方へのフォローと目標枚数に向けての向上が課題。

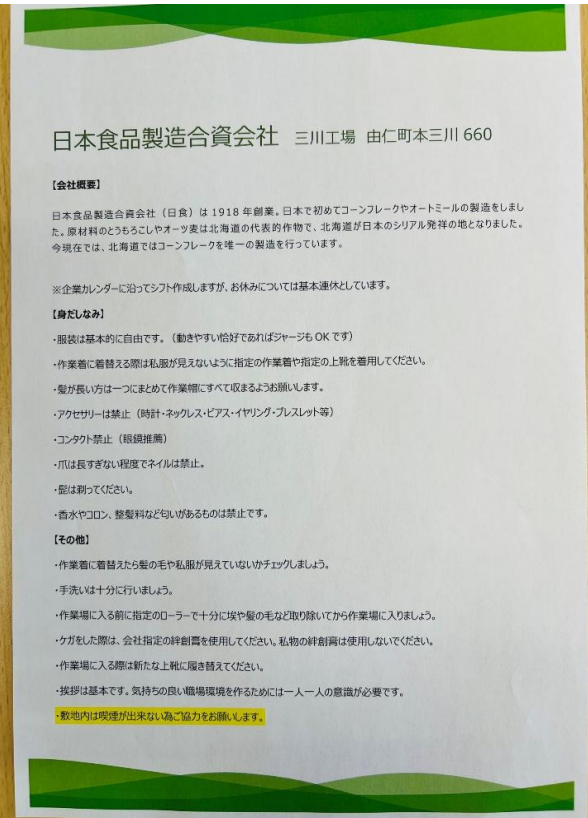


タオルを決められた枚数に達すると結束で1つにまとめる作業

連携先の企業等の意見または評価			
お世話になっております。4月は洗濯物が少なかったので工場内のラインテープ張替えや細部の清掃作業も手伝って頂き大変助かりました。 現在「仕分け作業」「タオルたたみ」を担当していただいておりますがもう少しスピードアップしていきましょう。頑張ってください。			
連携先企業名	(株)エンパイアー	担当者名	主任 中尾 誠 様

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	クレザ	事業所番号	111100996
住所	北海道千歳市千代田町六丁目7番3号 リレントビル301	管理者名	山口 良子
電話番号	0123-29-6360	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要	
〈 活動内容 〉 活動場所： 日本食品製造合資会社 実施日程： 2025年1月31日 実施した取り組みの概要： 食品工場の身だしなみなどのルールについて資料による研修 利用者 7 名、職員 1 名、先方職員1名	〈 活動の様子 〉 
〈 目的 〉 - 食品工場の作業着着用に関してのルールの把握 - 食品工場に入る際の基本動作の習得 - 社会においての決まり事を習得するため	
〈 成果 〉 - 食品工場でのルールをチーム全体で把握できた。 - アクセサリを着用しないだけでなく髪の毛が帽子から出ていないかなど鏡でチェックするようになった。 - 身だしなみを意識するようになった。 - 髭を剃るように伝えるなど食品工場の基準に添える周知が増えた。 1 人の行動がチーム全体としての評価に繋がる意識を持つことが課題。	一人一人に資料を配布し説明を受ける

連携先の企業や事業所等の意見または評価			
・無駄話もなく作業されており、白衣、帽子等を着衣して毎日きちんとした身だしなみで問題ありません。 ・稀にボーっとしている方も見られるので、怪我防止のため「通ります」等、必要時声掛けをすると良いと思います。			
連携先企業名	日本食品製造合資会社	担当者名	工場長 佐藤博喜 様
利用者からの意見・評価			
・爪は毎日伸びるためチェックするようになった。 ・鏡でチェックする癖が身に付いた。 ・挨拶は自ら行っていきたい。			